

新年が明けました。

まずはじめに、令和 6 年能登半島地震で亡くなられた方々に対し、御冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々に対して、心よりお見舞いを申し上げます。管轄州の政府の方々からも、お見舞いの言葉をいただきました。

また、日本・ケベック関係に大きな貢献をされたクロード・ガニエ氏が昨年 12 月にお亡くなりになりました。同氏は、モンリオール市立植物園日本館の創設年（日本庭園の創設は前年の 1988 年）である 1989 年から 2015 年の長きにわたりモンリオール市立植物園日本庭園・日本館基金理事長を務められ、また、茶道裏千家淡交会モンリオール協会の会長も務められました。当館としてもご冥福をお祈りします。

年明けには、日加関係増進のための重要な出来事として、上川外務大臣がモンリオールを訪問しました。日本の外務大臣のモンリオール訪問は 5 年ぶりとなります。上川外務大臣は、13 日、メラニー・ジョリー・カナダ外務大臣と会談を行いました。冒頭、上川大臣から、9 年ぶりにカナダを訪問しジョリー外相にお会いできることを嬉しく思う旨述べました。これに対し、ジョリー外相から、上川大臣のカナダ訪問を待ちわびていた、特に自分の出身地であるモンリオールでお迎えできることを心よりうれしく思う旨発言がありました。また、上川大臣は、能登半島地震及び羽田空港での航空機衝突事故に対するカナダ政府からのお見舞いを受けたことに対して謝意を伝えました。両外相は、国際社会が直面する課題は山積し、日加間、そして G7 における緊密な連携がますます重要となっている中、日加の協力及び G7 の取組を一層推進していくことで一致しました。両外相は、国際情勢に関する諸テーマにかかる意見交換に加え、JET プログラムやカケハシ・プロジェクトを始めとする人的交流が日加の外交を下支えしていることを歓迎し、人的交流の促進をハイレベルで支援していくことで一致しました。



また、上川外務大臣は、現地日系人との昼食会のなかで、在加日系人が多くの困難を乗り越え、現在では様々な分野で活躍されていることに対して敬意を表

し、モンリオール日系文化会館が、現地での日本文化の紹介・普及・理解促進や日系人の歴史の継承において果たしてきた貢献に謝意を伝えました。上川大臣は、日本政府が毎年実施している在加日系人リーダー招へい等を通じて、日系人との一層の関係強化や若手日系人リーダーの育成を進め、現地コミュニティの活性化につなげたい、と述べました。参加した現地日系人からは、日頃の活動について紹介があるとともに、日加の架け橋として、両国の更なる友好関係の発展に尽力していきたい等の発言があり、和やかな雰囲気意見交換が行われました。また、日系カナダ人コミュニティと新たにカナダに移転・移住した日本人とのコネクション強化のために、日本文化センターや IT 技術を活用しつつ、どのようなことができるかについても、活発な意見交換が行われました。

さらに、上川大臣は、モンリオール日本語補習校を訪問し、中学 2 年生による習字を含め、授業の様子を視察するとともに、教員代表との間で補習校における日本語・日本文化の教育等について意見交換を行いました。



私は、新たな任国に着任するにあたって、その国を可能な限り深く理解するため、その国の憲法全文を読むこと、その国の中学校・高校にあたる課程の歴史の教科書を読むことに加え、その国の代表的な映画を見ることにしています。映画作品は、視覚を通じた情報でわかりやすいですし、ちょっとした会話や仕草からその国の人々の習慣や考え方を学ぶことも大きな魅力です。これまでカナダ関係では以下の作品を見ました。4 つ目は、ご存じの方も多いと思いますが、HATSUMI さんへのインタビューや映像・写真を通して日系カナダ人を巡る歴史が印象深く描かれた作品です。そのほかの作品からも、カナダの各地方に住む人々の生活・習慣、一つの時代の社会情勢などについて大きな学びを得ることができました。皆様も、お薦めの映画があれば是非教えてください！

MON ONCLE ANTOINE (CLAUDE JUTRA 監督, 1971)

ATANARJUAT, THE FAST RUNNER (ZACHARIAS KUNUK 監督, 2000)

LES ORDRES (NICHEL BRAULT 監督, 2007)

HATSUMI (CHRIS HOPE 監督, 2012)